

参考資料

《資料1》平成20年度学生生活調査実施要領

I 調査の概要

1. 調査の目的

この調査は、各種の条件下における標準的な学生生活の状況を把握するとともに、学生の家庭の状況からその経済的基盤を推定することにより学生の経済的実情を明らかにし、学生生活支援事業を改善するための基礎資料を得ることを目的としています。

2. 調査の対象 大学院、大学学部及び短期大学本科の学生（休学者及び外国人留学生は除く。）

3. 調査の時期 平成20年11月

4. 提出締切 平成20年12月19日（金）当機構必着

5. 調査数

下記の抽出率によって在籍学生（平成20年5月1日現在の学校基本調査による。）から抽出した数とします。

【平成20年度 抽出率】

区分		設置者別		
		国立	公立	私立
大学院	修士課程	$\frac{1}{22}$	$\frac{14}{37}$	$\frac{7}{82}$
	博士課程	$\frac{1}{3}$	$\frac{11}{17}$	$\frac{11}{34}$
	専門学位課程	$\frac{7}{16}$	$\frac{15}{16}$	$\frac{1}{4}$
大学学部	昼間部	$\frac{1}{98}$	$\frac{4}{91}$	$\frac{5}{881}$
	夜間部	$\frac{15}{62}$	$\frac{9}{23}$	$\frac{4}{81}$
短期大学	昼間部		$\frac{31}{89}$	$\frac{1}{38}$
	夜間部		$\frac{32}{37}$	$\frac{45}{86}$

6. 調査方法

あらかじめ、この調査の対象となる全在籍学生の中から、当機構が依頼した調査数だけの学生を「無作為抽出方法（後記「Ⅲ 被調査学生の抽出方法」参照のこと。）」によって抽出後、所定の調査票で調査します。

Ⅱ 大学における事務

1. 調査開始前の準備

A 調査責任者の決定

貴学の担当職員の中から1名の調査責任者を決め、この調査の企画、運営に当たってください。なお、大規模な大学等で調査責任者だけでは実施しがたい場合には、学部別等に調査員を定めて作業を分担してください。この場合、各調査員が分担する調査数は、前記4の「調査数」の抽出率により抽出した数とし、区分ごとの抽出率は厳守してください。

B 調査責任者（調査員）の役割

(1) 学生への周知

調査票回収まで一連の作業が円滑に行われるよう、被調査学生を抽出する前に、この調査の趣旨及び実施について、掲示等により学生に十分な周知を図ってください。

(2) 被調査学生の決定

当機構から依頼した調査数（調査員は、調査責任者から割当てられた調査数）を、後記「Ⅲ 被調査学生の抽出方法」によって抽出してください。

(3) 「学生整理番号」の決定

抽出によって決定した被調査学生に

0	0	0	1
---	---	---	---

 から始まる連続の整理番号を付けてください。（複数の調査員で分担した場合にも、大学内で番号が重複しないよう調整してください。）

(4) 調査票の整理

全調査票に大学名、大学調査番号、学生整理番号を記入し、調査時期まで保管してください。

2. 調査の実施

(1) 11月中（準備が出来次第すみやかに）に、被調査学生に、次の3点を配布してください。

- ① 「平成20年度学生生活調査」回答のお願い
- ② 秘学生生活調査調査票（平成20年11月）
- ③ 調査票記入上の注意

※ この調査において、提出された調査票から個人が特定されることなく、プライバシーは保護される旨、被調査学生に対し十分な説明を行い、回収率の確保に努めてください。

※ 調査項目について、授業料・学校納付金等、各大学等で金額が決まっているものについては、その額を学生に示し、誤記入がないようにしてください。

(2) 12月1日以降に被調査学生から、調査票を回収してください。

3. 調査後の整理と報告

(1) 調査責任者は、全調査票を点検してください。

特に、① 調査票(12)の「(A)授業料」及び「(B)その他の学校納付金」

② 調査票(11)の計と(12)の計（収入、支出の差が著しく大きくないか）

については十分点検し、誤りがあれば訂正してください。

(2) 全調査票（調査できなかった票を含む。）を取りまとめ、次頁の様式による「調査票回

収枚数一覧表」を付して、12月19日（金）必着で日本学生支援機構政策調査研究課へ送付してください。なお、提出にあたっては送付封筒の表に「学生生活調査調査票在中」と朱書してください。

Ⅲ 被調査学生の抽出方法

1. 抽出方法

- ① 平成20年5月1日現在の大学院・大学学部及び短期大学本科の在籍者（5月1日現在休学者及び外国人留学生を除く）を、大学院については、修士課程、博士課程、専門職学位課程別、大学及び短期大学については、昼間部、夜間部別に分類してください。
- ② ①によって分類したそれぞれについて、当機構が依頼した調査数（調査数は、別紙を参照）だけの学生を③の方法により抽出してください。
なお、調査数の多い大学にあつては、上記の分類を、更に男女別、学部別、年次別等に学生数に応じて配分しておいてください。
- ③抽出方法 次のA、Bどちらかの方法で抽出してください。

【A. Excelを利用する場合】

学生数の多少に関わらず、無作為抽出で被調査学生を決定できます。詳しくは、当機構の平成20年度学生生活調査のホームページを参照してください。

※URL→ http://www.jasso.go.jp/statistics/gakusei_chosa/08manual.html

【B. 「くじ」を利用する場合】

学生数が少ないときは、全学生に対応する「くじ」を作り、調査数だけの「くじ」を引いて被調査学生を決定してください。学生数が多くて全学生分の「くじ」を作ることが困難な場合は、まず、

全学生数÷抽出すべき調査数＝N（抽出間隔）

を計算してください。それから、学生名簿の1番からN番目までの者について「くじ」を作り、その中から1人を抽出し、その抽出された者からN番目ごとの学生を取れば、所要数だけの被調査学生を決定することができます。

2. 抽出上の注意

- (1) 抽出方法は、必ず前記の無作為抽出方法により、作為的に抽出しないでください。
- (2) 抽出により決定した被調査学生は、変更しないでください。また、5月1日現在では在籍していたが、調査時に休学、退学している者が対象となった場合は、その者についての調査は不要です。
- (3) 前記の抽出方法で正しく実施した結果、その大学だけでは偏りがあると思われる対象が選ばれても（例えば居住別などが特定の者に偏っても）、それらは、全国的集計によって確率的に調整されるため、抽出結果を主観的に修正しないでください。

(様式)

調査票回収枚数一覧表

大学(短期大学)名 _____

大学調査番号

--	--	--	--

担当部署名 _____

担当者名 _____

電話番号 _____

区 分		調 査 数	調査票回収枚数(調査不能は除く)
大学院	修士課程	人	枚
	博士課程		
	専門職学位課程		
大学	昼間部		
	夜間部		
短期大学	昼間部		
	夜間部		
計			

(注) 1. この調査は、全国の学生の中から平均2.68%の抽出率による標本調査であり、その精度を高めるためにも、調査票の全数回収は極めて重要です。また、調査結果をできる限り早く得るため提出期限を厳守されるよう、特段の配慮をお願いします。

2. 大学調査番号欄には、「平成20年度学校基本調査」における学校調査番号を記入してください。